

1年生カラマツコンテナ苗の植栽後の成長

目的: 播種当年で出荷規格を満たし、植栽後の成長も良い苗の生産方法を開発

課題: 従来より育苗期間の短い1年生苗の植栽後の成長性が不明
 試験的に活用しているグルタチオン施用の効果の検証が必要

経費・労力
DOWN
 需給調整
精度UP

植栽1年目のまとめ

- ◎1年生苗の成長性・・・グルタチオンの有無にかかわらず、1年生苗の成長は従来方法で生産した2年生苗と遜色なし。
- ◎グルタチオン施用効果・・・育苗時W2施用による成長性の向上は1年目では確認できないが、植栽直前のW2施用により伸長成長が良くなる傾向。

植栽試験の内容

植栽試験①

【植栽条件】

場所: 長野県塩尻市(個人有林・西向き)
 苗種類※1: 育苗時W2 vs 育苗時HN vs 従来2年生苗
 施肥※2: なし vs R1
 (2020/5/13植栽・2020/11/20調査)

※1 W2: 酸化型グルタチオン配合肥料カネカ®フチW2、HN: ハイボネックス (N同量で希釈)
 ※2 R1: 酸化型グルタチオン配合肥料カネカ®フチR1(粒剤)を植穴に16g直接投入、W2: 前日に250倍希釈溶液に1分程度浸漬

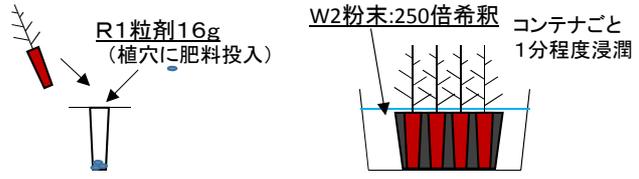
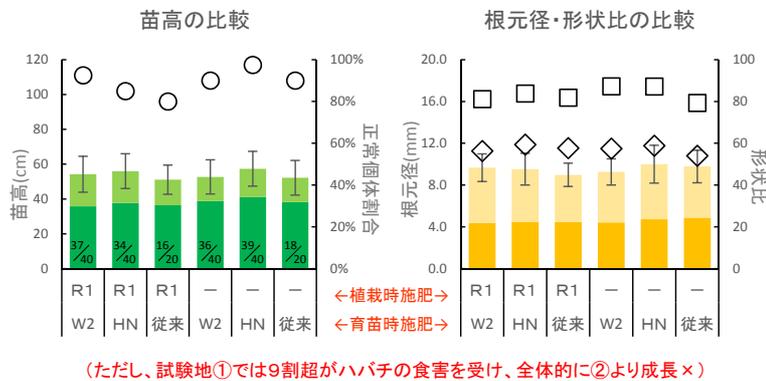
植栽試験②

【植栽条件】

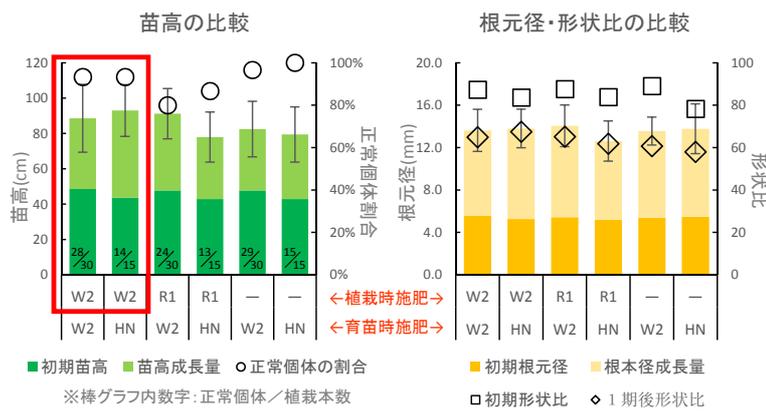
場所: 長野県塩尻市(センター構内・西向き)
 苗種類※1: 育苗時W2 vs 育苗時HN
 施肥※2: なし vs R1 vs W2
 (2020/5/8植栽・2020/11/6調査)

植栽1年目の結果

植栽試験①



植栽試験②



★従来苗との比較

1年生苗と従来2年生苗では、ほぼ差なし

★育苗時W2施肥の効果

植栽後の成長への効果は確認できず

★植栽時W2施肥の効果

植栽後の伸長成長を促した可能性あり(赤枠)

※初期苗高に有意差無し
 → 1期後苗高「植栽時W2>施肥なし」($p < 0.05$)

★植栽時R1施肥の効果

植栽後の成長への効果は確認できず

※先枯等の異常個体は解析から除外
 検定はTukey-Kramerの多重比較検定による。